

01.サン・ジョルジェ城



リスボンの街全体を見下ろすことができる丘の上にそびえ立つ石造りの城壁に囲われたサン・ジョルジェ城は、その起源を辿ると紀元前2世紀頃まで遡り、古代ローマ時代の要塞であったと知られています。

城の主は長い歴史と共に移り変わりましたが、今なおリスボンの中心にあり続けるその城を見上げてみると立派な城壁と塔がそびえ立ち、またサン・ジョルジェ城から見下ろすリスボンの街並みやテージョ川の素晴らしい眺めは感動しました。

古い街並みを守りつつ街全体がオレンジの屋根で統一されているのもまた特徴の一つで印象的でした。

ヨーロッパのこの石造りの建物には温かさが感じられ、その古くありのままの年月を感じることができるのもまた良いです。

城の中はまるで迷路のような城内を進んでいくと広場（庭園）に出てきます。周りをグルッと高い城壁に囲われる中にあるその広場には沢山の木があり、古い石造りの城壁と緑とのコントラストがとても美しく、また各所に置かれた大きな古い大砲にも当時を思わず想像させられます。

（サン・ジョルジェ城用途の移り変わり）
王宮→公文書館→兵舎や監獄→教育施設や气象台→城壁跡となっている。

「七つの丘の街」の異名を持つポルトガルの首都リスボン、起伏に富んだ情緒あふれる街並みを体感することができました。

追久保 まり子